

鳥取縣公報

縣

令

第三百四十六號

金曜日

昭和七年八月十九日

◇鳥取縣令第三十七號

明治三十二年八月鳥取縣令第三十八號罹災救助基金ノ管理及支出ニ關スル方法左ノ通改正ス

昭和七年八月十九日

鳥取縣知事

館

普

二

罹災救助基金ノ管理及支出ニ關スル方法

第一條 罹災救助基金法第十七條第四號ニ依リ銀行ニ預入レヲ爲ストキハ擔保トシテ其ノ金額ニ相

當スル國債証券、勸業債券、日本興業銀行債券、農工銀行債券ヲ領置ス其ノ價格ハ知事之ヲ定ム

第二條 罹災救助ハ同一市町村ニ於テ十五戸以上ニ亘ル非常災害ニ罹リタル場合又ハ場所ヲ異ニス
ルト雖モ二十戸以上同一ノ災害ニ罹リタル場合ニ於テ之ヲ行フ

但シ災害ノ狀況ニ依リ右ノ戸數ニ達セザルトキト雖モ救助スルコトヲ得

第三條 罹災救助ハ市町村長ニ於テ知事ノ許可ヲ受ケ之ヲ行フベシ但シ急迫ノ事情アリテ知事ノ許可ヲ受クル暇ナシト認ムルトキハ市町村長ハ直ニ救助ヲ爲シ遲滞ナク許可ノ申請ヲ爲スベシ

第四條 特ニ必要アリト認メタルトキハ知事ハ前條ノ規定ニ拘ラズ罹災救助ヲ爲スコトアルベシ

第五條 前二條ノ救助ハ左ノ制限ニ依ルベシ

一 避難所

避難所ハ多數ノ罹災者其ノ家屋ニ起臥スルコト能ハザル場合ニ限り開設シ便宜ノ建物ヲ以テ之ニ充テ若シ便宜ノ建物ナキ場合ハ小屋掛ノ例ニ準シ臨時避難ニ適當ナル場所ニ建設スベシ

避難所ニ要スベキ借家料、薪炭油其ノ他ノ諸費ハ必要己ムヲ得ザル限度ニ於テ其ノ實費ヲ支出ス避難所ノ開設期間ハ十五日以内トス

二 食料

焚出ハ罹災者自ラ炊爨ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ十日以内、食品ハ自辨シ難キ事實アリト認ムル者ニ對シ焚出ヲ通ジ三十日以内左ノ割合ヲ以テ之ヲ給與ス但シ二歳未満ノ者ハ之ヲ除ク

年齢十五歳以上七十歳未満ノ男一人 一日白米六〇〇グラム 及六錢以内ノ副食物

前掲外ノ男及女 一人 一日白米四五〇グラム 及五錢以内ノ副食物

但シ白米ニ代フルニ同量ノ麥其ノ他ノ穀類ヲ以テスルコトヲ得

三 被服

被服ハ罹災ノ爲季節相當ノ被服ヲ自辨スルノ途ナキ者ニ對シ左ノ割合ノ範圍内ニ於テ給與ス

但シ帶ハ滿三歳以上ノ者ニ限ル

被服種類	年齢及價額	季	節
單衣	五歳未満ノ者 一人ニ付 六〇 <small>錢</small>	五歳以上十五歳未満ノ者 一人ニ付 一、〇〇 <small>錢</small>	十五歳以上ノ者 一人ニ付 一、五〇 <small>錢</small>
綿入	九〇	一、五〇	二、一〇
襦袢	一、二〇	二、〇〇	二、五〇
帶	三〇	四〇	六〇
給及縮入ヲ給與スベキ期間	二〇	二五	三五

四 治療

治療ハ罹災者ノ傷痍、疾病ニシテ治療ノ必要アリト認ムル場合ニ限り日數三十日以内之ヲ行ヒ

01004

治療費ノ實費ヲ支出ス
五 小屋掛

小屋掛ハ自ラ雨露ヲ凌グコト能ハザル者ニ對シ左ノ範圍内ニ於テ之ヲ建設シ又ハ其ノ材料ヲ給與ス 但シ舊家屋ノ材料ヲ使用シ得ベキモノニ在リテハ其ノ半額ヲ給與ス

家族 二人以内 金貳拾圓以内

家族二人ヲ超ユル場合ハ一人ヲ増ス毎ニ金五圓以内ヲ加フ 但シ家族員數ハ五歳未滿ノ者ヲ除ク

六 就業品

就業品ハ價額僅少ナル資料又ハ器具ニ依頼シ業務ニ従事スル者ニシテ就業上必要缺クベカラザル資料又ハ器具ヲ亡失シタル場合ニ於テ左ノ割合ヲ以テ給與ス

(一) 種籽ハ耕作地積十アールニ付四キログラム以内ノ割合但シ一戸四十キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

(二) 種籽以外ノ資料ハ其ノ業態ニ應ジ一戸ニ付六圓以内 但シ種籽ノ給與ヲ受クル者ニ付テハ之ヲ含ムモノトス

01005

(三) 器其ハ其ノ業態ニ應ジ一戸ニ付拾五圓以内
七 學用品

學用品ハ尋常小學校兒童ニシテ其ノ履修スル課程ニ必要ナル教科書又ハ文房具ヲ自辨スルノ途ナキトキニ限り之ヲ給與ス 但シ金錢ヲ以テ給與スル場合ハ教科書ハ定價ニ依リ文房具ハ壹圓五拾錢ヲ限度トシ給與ス

八 運搬用具

運搬用具ハ罹災者救助ノ爲必要アル場合ニ限り船、車、馬其ノ他必要缺クベカラザルモノヲ借入レ其ノ借入費ハ左ノ制限ニ依リ之ヲ支出ス

(一) 和船ハ長サ五メートル未滿ハ一艘一日ニ付壹圓五拾錢以内五メートル以上一メートルヲ増ス毎ニ拾五錢以内ヲ加フ

(二) 發動機船ハ一艘一日ニ付五噸未滿ハ拾圓以内五噸以上拾噸未滿ハ拾五圓以内拾噸以上拾五噸未滿ハ貳拾壹圓以内拾五噸以上貳拾八圓以内貳拾噸以上ハ參拾六圓以内但シ

船員及消耗品等ニ要スル費用ヲ含ム

(三) 荷車一輛ニ付一日參拾錢以内

- (四) 荷馬車馱者馬共一輛ニ付一日四圓以内
- (五) 馬一頭一日貳圓五拾錢以内
- (六) 前記以外ノ運搬用具借入費ニ付テハ實費ヲ支出ス
- 九 人夫ハ罹災者救助ノ爲必要アル場合ニ限リ一人一日ノ賃金壹圓以内ヲ以テ借入ル
- 第六條 罹災救助ヲ金錢ヲ以テ行フ場合ニハ前條ノ制限ニ準ズベシ
- 第七條 災害ノ連續、罹災程度ノ劇甚其ノ他特別ノ事情アル場合ニ於テハ第五條第一號第二號及第四號ノ規定ニ依ル期間ノ三倍ヲ超エザル範圍ニ於テ救助スルコトヲ得
- 前項ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第八條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

訓 令

◇鳥取縣訓令甲第十六號

市 町 村 長

罹災救助取扱手續左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年八月十九日

鳥取縣知事 館 哲 二

罹災救助取扱手續

- 第一條 市町村長ニ於テ罹災救助ノ必要アリト認メタルトキハ罹災救助基金ノ管理及支出ニ關スル方法第三條ノ許可申請前災害ノ狀況ヲ知事ニ急報スベシ
- 第二條 罹災救助基金ノ管理及支出ニ關スル方法第三條ノ許可申請書ニハ別記様式ノ罹災救助計畫調書及罹災狀況調書ヲ添付スベシ但シ罹災狀況調書ハ食料(焚出ヲ除ク)、被服、小屋掛、若ハ小屋掛材料、就業ニ必要ナル資料若ハ器具學用品又ハ金錢ノ給與ヲ爲サントスル場合ニ限ル
- 金錢給與ヲ爲サントスルトキ又ハ罹災救助基金ノ管理及支出ニ關スル方法第七條ニ依リ制限外救助ヲ爲サントスルトキハ申請書ニ其ノ旨及理由ヲ附記スベシ
- 第三條 救助ニ要スル費用ハ供給者其ノ他ノ債主ヨリ知事宛ノ請求書ヲ徵シ別記様式ノ救助費仕譯書ヲ添ヘ知事ニ提出スベシ但シ金錢ノ給與ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 第二條第一項但書ノ給與ヲ爲シタルトキハ各戸ヨリ別記様式ノ受領証ヲ徴シ知事ニ送付ス
 ベシ但シ金錢ノ給與ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

大正八年三月鳥取縣訓令第十六號罹災救助願取扱手續ハ之ヲ廢止ス

別 記

罹災救助計畫調書様式

(一) 何災避難所(借家)調書

開設月日	借延	面積	收容人員	借家料	閉鎖月日	開設場所及家屋所有者氏名
		平方メートル				
計						

備考 借家料以外ノ薪炭油其ノ他ノ諸費ハ適宜欄外ニ見込金額、數量、單價ヲ記載スベシ

(二) 何災避難所(建設)調書

建設着手月日	竣工豫定月日	開設月日	收容見込人員	建物延面積	建設費	閉鎖豫定月日	建設ノ場所
				平方メートル			
計							

備考 建設ニ要スル材料、工賃、人夫賃等ハ欄外ニ金額員數單價等ヲ記載シ建築費ニ對スル計

算ノ基ク所ヲ明ニスベシ

(三) 何災食料給與調書

給與種別	給與見込日數	一日白米六〇瓦及 六錢以內ノ副食物 ヲ給スベキ人員	一日白米四〇瓦及 五錢以內ノ副食物 ヲ給スベキ人員	一日白米一日ノ給與數量	一日ノ副給與白米 給與副食物總數量	氏名
	計					

備考 一 給與種別ハ焚出給與、食品給與ノ別ヲ記載スベシ

二 白米及副食物ノ單價總價額ハ本表欄外ニ記載スベシ

01014

備入月日	男人夫數		女人夫數		一日一人當 人夫賃	總金額	使途
	男	女	男	女			
計							
罹災狀況調查書樣式 罹災狀況調查書 何郡何市(町、村)大字何氏 名							
一 罹災概況 二 殘存物件							
種類	箇數	見積	積價	額			
何々							

01015

救助費仕譯書樣式 何災救助費仕譯書 何郡何市(町、村)		計
一金何程	救助費	
內 一金何程 但シ罹災者何人分ニ對スル避難所建設費又ハ避難所借家料 食料費 但シ罹災者何人分食料費 被服費 但シ何歳以上ノ者單衣(裕又ハ綿入等)何枚代	避難所費	

01016

何歳未滿ノ者 同上

金何程 治療費

但シ負傷者(病者)何人延何日分施術料藥價入院料

金何程 小屋掛費

但シ罹災者何戸分小屋掛費

金何程 就業費

但シ農家何戸分種穀料何程農具料何程 漁業家(職工)何戸分器具代何程

金何程 學用品費

但シ何學年生何人分教科書代何程文房具代何程

金何程 運搬用具費

但シ何船(車、馬)何艘(輛、匹)何日借入代

金何程 人夫費

但シ男(女)延何人代

右ノ通ニ候也

01017

年 月 日

知事 宛

何郡市(町村)長

受領証様式

受領証

一、何々 何程

一、何々 何程

右ハ何年何月何日何災ニ罹リ前記物品給與相成正ニ受領候也

年 月 日

住所 氏名

知事 宛

備考 同一ノ災害ニシテ同時ニ給與ヲ受ケタル者ナルトキハ連名ニテモ差支ナシ此ノ場合ニ於テハ
品名數量ノ下ニ被給與者ノ氏名ヲ記載スベシ

告示

◆鳥取縣告示第三百二十九號

昭和七年度定期種牡馬検査期日及場所左記ノ通決定ノ旨通知アリタリ
種牡馬ノ検査ヲ受ケムトスルモノハ九月三日迄ニ縣廳ニ到着スル様願書ヲ差出シ當日午前九時迄ニ
牽付ケ受檢スベシ

昭和七年八月十九日

鳥取縣知事 館 哲 二

検査期日	検査場所	受檢區域
昭和七年九月六日	米子市勝田町	鳥取縣一圓

◆鳥取縣告示第三百三十號

昭和七年八月縣參事會ノ議決ヲ經タル昭和七年度鳥取縣歳入歳出追加豫算並同年度治水事業費歳入
歳出追加豫算ノ要領左ノ通

昭和七年八月十九日

鳥取縣知事 館 哲 二

昭和七年度鳥取縣歳入歳出追加豫算

歳入	歳出
第十一款 國庫下渡金	九一七 _円
第一項 警察費下渡金	九一七
第十二款 雜收	六、一四〇
第六項 過年度收入	六三四
第七項 雜入	五、五〇六
歳入經常部計	七、〇五七
歳入合計	七、〇五七
歳出經常部	九一七
第四款 警察費	九一七

第一項	俸給及諸給	七七一
第二項	應費	一四六
第七款	教 育 費	五、五〇六
第九項	學 事 諸 費	五、五〇六
歲出經常部計		六、四二三
臨時部		
第二款	教 育 費	六三四
第四項	中 學 校 費	三一〇
第五項	高等女學校費	三二四
歲出臨時部計		六三四
歲出合計		七、〇五七
昭和七年度治水事業費歲入歲出追加豫算		
歲入		
第五款	繰越金	五三六

第一項	前年度繰越金	五三六
歲入	總計	五三六
歲出	出	
第一款	治水事業費本年度支出額	五三六
第二項	過年度支出金	五二七
第三項	過年度過納下戻金	九
歲出	總計	五三六

◆鳥取縣告示第三百三十一號

本年第二回產婆、看護婦試驗ヲ左記日時場所ニ於テ施行ス
 志願者ハ八月三十一日迄ニ願書ニ戶籍謄本若クハ戶籍抄本及寫眞(最近撮影シタル手札型無台紙)
 二葉添付提出ノ上當日午前八時迄ニ受験用具携帶出頭セラルベシ
 昭和七年八月十九日

鳥取縣知事 館 哲 二

01022

試験ノ種類	日	時	場
産婆試験學說	昭和七年九月二十日午前九時ヨリ		鳥取市東門 縣會議事堂
同 實地	昭和七年九月三十日 十月一日同	上	同
看護婦試験學說	昭和七年九月二十七日同	上	同
同 實地	昭和七年九月二十八日同 二十九日同	上	同

◆鳥取縣告示第三百三十二號
 本年第一回鍼術、灸術、按摩術、マツサイシ術、試験ヲ左記日時場所ニ於テ施行ス
 志願者ハ來ル九月四日迄ニ願書ニ戸籍謄本若クハ戸籍抄本、履歷書、修業證明書及寫眞(最近撮影シタル手札型無台紙)二葉添付提出ノ上當日午前八時迄ニ受験用具携帶出頭セラルベシ
 昭和七年八月十九日
 鳥取縣知事 館 哲 二

試験ノ種類	日	時	場
同	昭和七年十月五日同	上	同

01023

鍼術、灸術、按摩術、マツサイシ術試験學說昭和七年十月四日午前九時ヨリ 鳥取市東門
縣會議事堂

同	實地	昭和七年十月五日同	上	同
---	----	-----------	---	---

◆鳥取縣告示第三百三十三號
 昭和七年八月產婆名簿ノ取消セシ者左ノ如シ
 昭和七年八月十九日
 鳥取縣知事 館 哲 二

住 所 鳥取縣西伯郡餘子村大字竹内七百五十四番地
 昭和七年七月二十三日付大阪市住吉區阿倍野
 筋一丁目百番地ニ轉住名簿取消方出願ニ對シ
 同年八月十一日名簿取消
 藤 原 か ね 子

◆鳥取縣告示第三百三十四號
 當管内ニ於ケル健康保險醫中左記ノ通異動アリタリ
 昭和七年八月十九日

鳥取縣知事

館

哲 二

新診療所所在地

舊診療所所在地

氏

名

異動事項

東伯郡倉吉町堺町

東伯郡下北條村大字島

藤川松

治

昭和七年七月二十八日

◆鳥取縣告示第三百三十五號

當管内ニ於ケル健康保險ノ助産手當ニ關スル保險產婆トシテ左記ノ通指定ス

昭和七年八月十九日

鳥取縣知事

館

哲 二

診療所所在地氏

名

指 定

年 月 日

八頭郡若櫻町大字若櫻

坂 本

八

重

昭和七年八月十一日

昭和七年八月十九日印刷
昭和七年八月十九日發行

發行者 鳥取縣鳥取市東町 縣
印刷所 鳥取縣高郡大正村大字古海 鳥取刑務支所